

令和5年度第1回高梁・新見地域医療構想調整会議 議事概要

日 時：令和5年度7月6日（木）13：30～14：30

場 所：高梁国際ホテルクリスタル中ホール

【開会：司会】

只今から、令和5年度第1回高梁・新見地域医療構想調整会議を開催いたします。本会議は、一部公開となっておりますので、ご了承ください。

委員の方は、昨年度の開催以降、新たに5名の方にご就任いただいております。また、5名の委員の方々がウェブ上でご参加くださいます。

開会にあたりまして、備北保健所 所長 宮原よりご挨拶申し上げます。

【挨拶：宮原保健所長】

地域医療構想は、地域の医療ニーズに対して、どのような機能の病床をどう配置していくか、地域医療の根幹に関わるものです。また、本日は、西日本豪雨災害から5年目を迎え、ハザードに対してもしっかりとした受け皿を持って対応しなければならぬと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

【議長等の選出】

※高梁・新見地域医療構想調整会議設置要綱第5条の規定により選出

※議長に仲田永造委員、副議長に太田隆正委員、近藤隆則委員及び戎委員を選出。

【議長挨拶】

この会議は高梁・新見地域の望ましい医療体制を構築する重要な場であります。皆様の積極的なご意見をよろしく願いいたします。

【議題1】地域医療構想の概要とスケジュール

○事務局説明

地域医療構想とは、地域の適正な入院病床の配置を考えるもので、つまり、地域住民に発生する入院診療行為回数を推計し、入院実績と将来の入院患者推計により、地域に必要で適正な病床数を配置していくことです。入院病床は、患者の緊急性、重症度によって、高度急性期、急性期、回復期、慢性期に分類されます。

地域医療構想の策定手順は、まず、地域の医療需要を推計し、医療需要に対する医療提供体制を検討した上で、地域の実情に応じて4つの病床機能の必要数を配置していきます。医療需要の推計にあたっては、エビデンスに基づくデータ分析が重要となりますが、岡山県においては、厚生労働省が公募した「地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」の採択を受け、データ分析を進めているところです。その一部のデータを本日の資料として添付しています。

本会議のスケジュールについては、5月、6月に各医療機関を対象とした情報交換会等の準備会を行いました。本会議は本日を含めて、年3回開催する予定としています。次回本会議までの間に、ワーキンググループを設置・開催し、検討した結果を本会議に報告して、議論を深めていただきたいと思います。ご承認いただけるでしょうか。

○議長

ワーキンググループを設置するという提案は、大変有意義であると思いますが、皆様、承認することとしてよろしいか。

※異議なし 承認

【議題2】高梁・新見地域における医療供給体制の現状と課題について

○事務局説明

高梁・新見地域の将来人口は減少する一途です。死因の内訳としては、悪性新生物、心疾患、老衰、肺炎、脳血管疾患の順に高く、地域の特徴として、特に、急性心筋梗塞による死亡率が高い状況が続いています。

高梁地域では、3つの病院、新見地域では4つの病院が、それぞれの医療機能を担い、支えている状況です。

許可病床数と2025年必要病床数推計（地域医療構想策定支援ツールによる）を比較すると、急性期病床が多い現況が続いています。

各病院の病床利用率は、約80%～90%です。令和2年が低下している要因は、新型コロナウイルス感染症の影響であると推測されます。

急性期病床についてのデータ分析では、全国の入院手術症例数と岡山県全域、高梁・新見地域の症例数と推計値を比較しました。岡山県全域では、推計値よりも実測値が高く、多くの患者さんが入流しています。一方、高梁・新見地域では、推計値と実測値が等しく充足しているのは眼科領域の手術で、他の手術、例えば、腹部

の大腸ポリペクトミーですが、人口減少に伴い、急性期の手術症例数は減少していくことが推計されます。

次に、回復期病床についてのデータ分析では、回復期病床における入院リハビリテーションの推計値と実績値を比較しました。運動器リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、摂食機能療法は充足していますが、一方、脳血管疾患等リハビリテーションは少なく、心臓リハビリテーションは実績がありません。

このような実際のデータから、急性期病床、回復期病床、慢性期病床をどのように配置し、必要な医療が効果的に効率的に行えるのか、検討していくことが必要となります。

○議長

医療需要を推計しながら、各医療機関で考えていく必要性がありますが、皆様からご意見があればお願いします。特にないようでしたら、次の議題に移ります。

【議題3】「地域医療構想を踏まえた対応方針」について（非公開）

○議長

全体について、皆様からご意見、ご発言をお願いします。

○委員

高梁市では、独自に「医療計画」を策定しており、県計画を踏まえて見直しを検討するところです。その中で、看護師の人材確保が最も厳しい現状です。

また、「高梁市国民健康保険成羽病院経営強化プラン（案）」について、忌憚のないご意見をもらいたいと考えています。

○委員

2025年4月1日から医師の時間外労働に上限が設定されます。また、他の医療機関の応援体制等兼業する場合の取り決めについても、各医療機関において考慮していただくこととなります。

○委員)

新見市においても看護師の人材確保は、大きな課題です。奨学金制度はありますが、応募者が少ない現状です。介護人材においても不足しています。

また、新型コロナウイルス感染症パンデミック後に、厚生労働省において、地域医療構想の進め方について見直しの議論があったと思われますが、その内容が反映されているかお聞きしたいです。

○事務局

厚生労働省からは、新興感染症や災害も念頭に置き対応できるようにとの通知がありましたので、他県の状況も見ながらデータを提示してきたいと思います。

また、本日、承認いただきましたワーキンググループで、さらに実効性のある検討を進めて参りたいと考えています。

また、委員の皆様から、必要なデータや情報等がございましたら是非とも事務局にお知らせください。

以上でございます。ありがとうございました。

【閉会：司会】

仲田議長におかれましては、円滑に議事を進行していただきありがとうございました。本日いただいたご意見等は関係医療機関等にお伝えし、今後の対応方針について積極的に検討していただけるよう活かして参りたいと存じます。

それでは、最後に太田副議長から閉会のご挨拶をいただきます。

【挨拶：太田副議長】

宮原保健所長から、事前にデータ分析等の情報をいただき感謝しています。

地域医療構想は難題です。本会でワーキンググループの設置が了承されましたが、感染症が発生した時の対応についても検討の必要があると考えます。

また、住民代表委員の方々がご発言できるような協議の場になることが、課題だと思いました。

本日は、どうもありがとうございました。

【閉会：司会】

太田副議長ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第1回高梁・新見地域医療構想調整会議を終了いたします。

次回は、9月28日（木）に開催予定としています。委員の皆様には、後日、開催通知をお送りします。

皆様、ありがとうございました。